

株式会社 式部 代表取締役社長

上嶋 伯協 さん

「煎茶製造を主力に経営してきたが、近年需要が増えているてん茶製造に力を入れることで、茶農家の所得増加を目指すし、和東茶の発展につなげたい」と話すのは、和東町の「株式会社 式部」代表取締役社長の上嶋伯協さん(61)だ。今春に完成するてん茶の製造工場稼働に、大きな期待を寄せる。

同町は、府内の宇治茶生産の約4割を担う主産地。有志7人で同社の前身となる式部共同製茶組合を立ち上げた1987年当時、周囲の多くは個人工場で煎茶製造をしており、先進的な

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

取り組みだった。「共同作業による煎茶製造で、一番茶から秋番茶まで効率良い経営ができていた」と上嶋さんは振り返る。

しかし、茶の用途が変わり、てん茶の需要が伸びてきた。上嶋さんらは煎茶の製造ラインだけのため、近隣のてん茶製造ラインがあ

る他の茶農家や茶工場に製造を依頼するしかなかった。「他の農家に製造を委託するので、最適なタイミングで受け入れてくれるとは言い切れない。良質の茶葉で、良質のてん茶を作りたかった」と話す。

新たにてん茶製茶工場を取得す

るためにはどうすればいいのか、J A京都やましろに相談を持ちかけたところ、法人化を勧められた。同組合の役員6人が役員となり、2016年1月を設立。国の強い農業づくり交付金を導入し、約10㍏(約300坪)の敷地にててん茶製造工場を建設することになった。今年の新茶の季節には稼働する見込みだ。

上嶋さんは「てん茶製造は、新たな施設費や24時間稼働に向けた人材確保など課題もあるが、地元の人材確保も大きい。私以外の役員5人が、20〜50代と若手なものも強い。経営が軌道に乗れば、てん茶の抹茶加工や抹茶食品の製造、さらには荒廃茶園の受け入れや作業受託などを進め、地域の茶園を支える法人にしていきたい」と語る。

.....

■法人所在地 和東町大字中小字 式部18の2。(電)0774(78)2594(上嶋さん宅)。

■法人概要 2016年1月設立。取締役6人、製茶加工時にパートタイマー4人。煎茶製造工場敷地面積約10㍏、製造ライン120キ(2ライン)。

てん茶加工場を建設



▶建設中のてん茶工場を背に、思いを語る上嶋さん